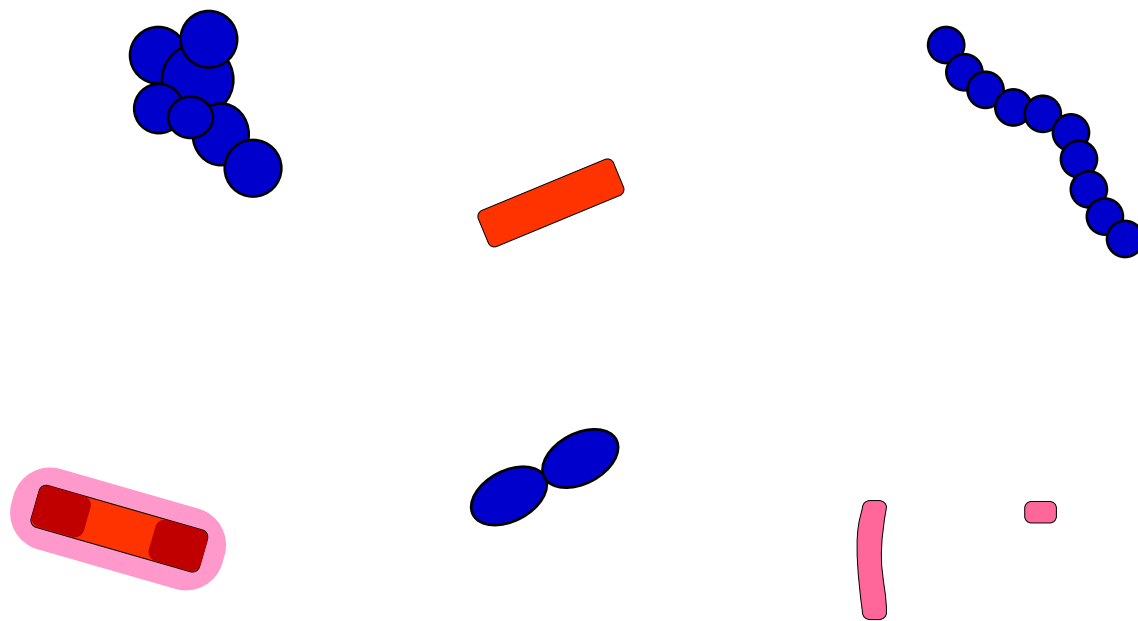


# 感染症サブスペ重点コース

## 福島医大感染制御部について



# ● 感染制御部の構成員

- Infection Control Doctor (ICD) 2名  
(感染症専門医・指導医・感染症学会評議員)
- Infection Control Nurse (ICN) 2名
- 感染対策担当薬剤師 4名
- 感染対策担当検査技師 2名

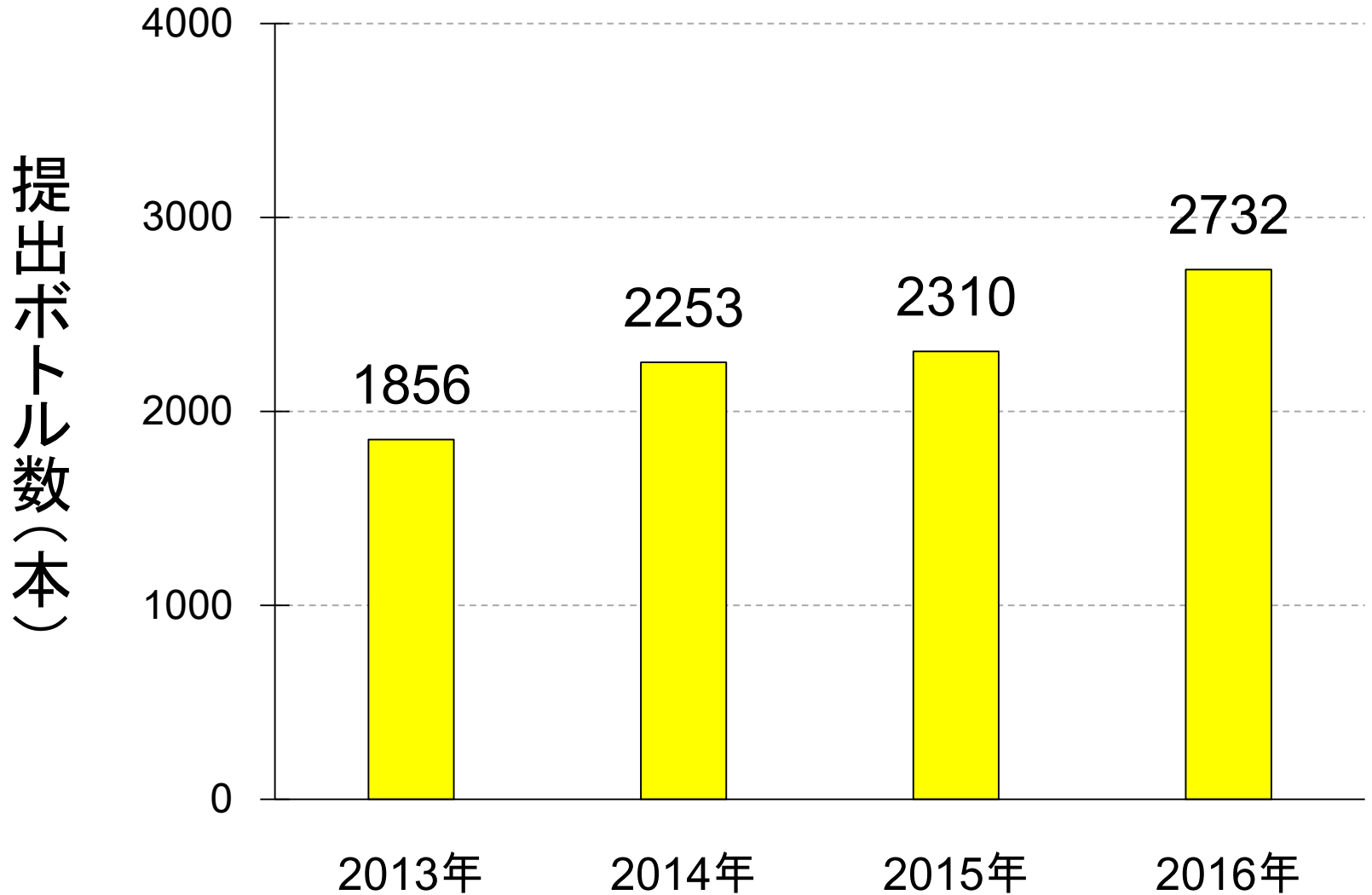
- 上記でInfection Control Team (ICT)を組織し日常業務を行っています
- 現在、感染症専門医コースで学びたいドクターを募集しています

# ICTとしての取り組み

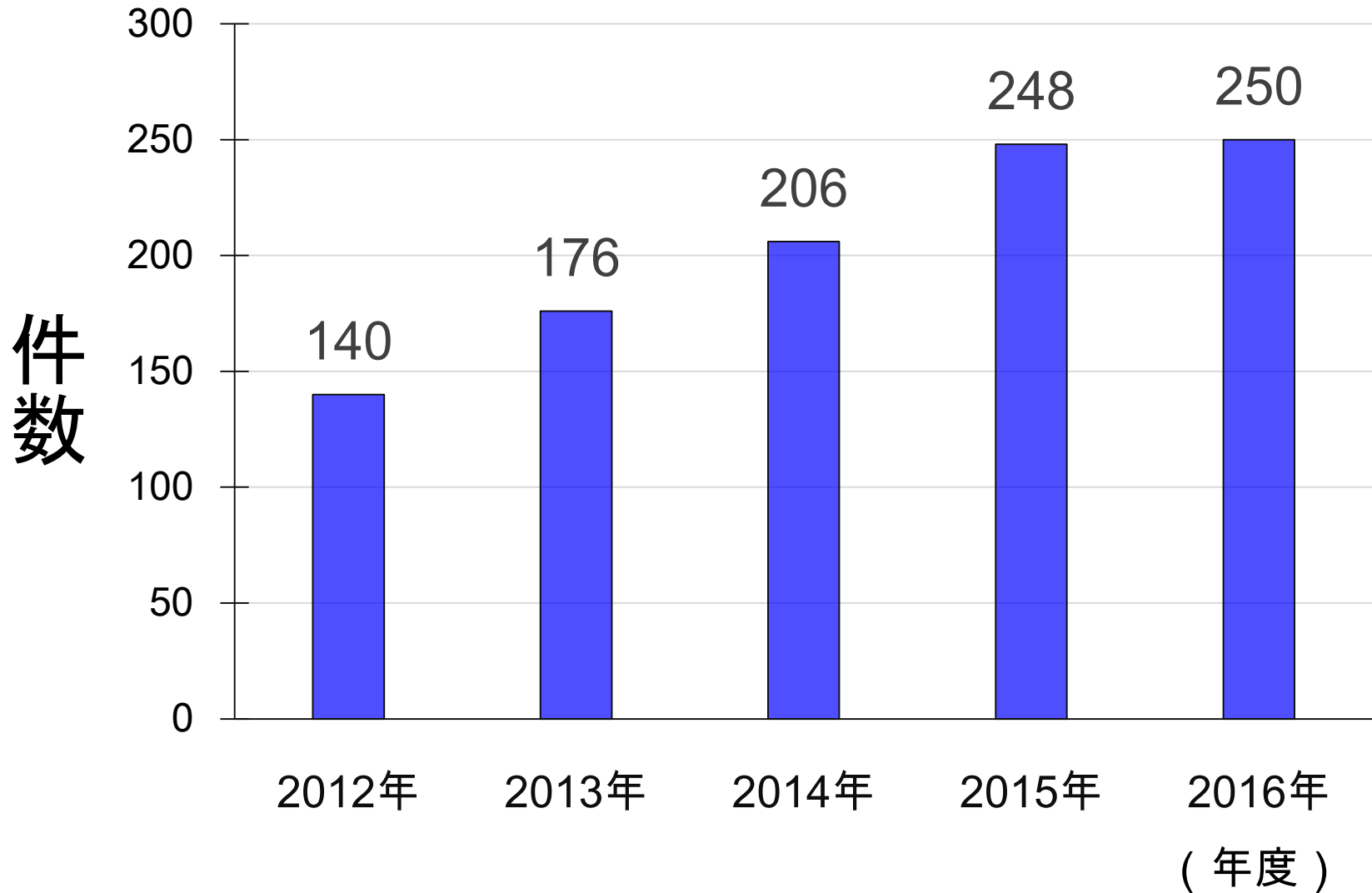
- 抗菌薬使用方針の適正化
- 適切な培養検査提出の徹底
- 院内感染対策の充実
- アウトブレイクの発生予防と発生時の迅速な対応



# 血培提出数の推移



# 感染症コンサルト数の推移

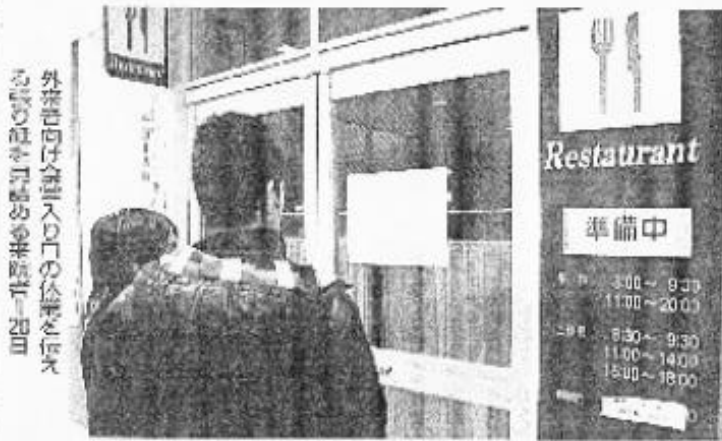


3/1

# 80人 感染性胃腸炎か

## 福医大病院の外

### 拡大防止へ対



福医大病院、十八日、福島の同大付属病院の外食者向け食堂を、と教職員、学生合わせて八十人に感染性胃腸炎の疑いがある。感染源が原因の特定を急いでいる。同大によると、付属病院の施設内で初めて。同人は医師らによる病棟の消毒、感染拡大を回避し、各部署を、十八日午前九時までに、同人の感染員五十八人、半生十三人の合計で八十人が下痢や嘔吐などの症状を訴えている。二に患者の発生は十八日、二十日、二十一日、二十二日、二十三日、二十四日、二十五日、二十六日、二十七日、二十八日、二十九日、三十日、三十一日、合計で八十人が下痢や嘔吐などの症状を訴えている。



## 福医大病院で食中毒症状

### さらに拡大、143人に

福医大付属病院（福島）80人が嘔吐や下痢などの症で訪れた人ら外部の26人、市の外来者向け食堂を、状を訴えた問題で、同大は（午後3時現在）が同じ症用した同大教職員や学生ら1日、通院患者や付き添い、状を訴えていることを明らかにした。病院関係者で新たに確認した人数も含め合計で143人（同）に増えた。同大は感染性胃腸炎の疑いがあるとみて、他に症状のある人がいないか情報収集に当たっている。

同大によると、2月28日夜以降、一般外来者から電話などで症状を訴える連絡があった。

民友

ち保さらい外は院人36

アウトブレイク対応例：  
医大病院で起こったノロウイルスによる  
アウトブレイク

典子さん(39)の「ひかりの

本現代 出さん 賞 地一 フリ 両選

日々の感染症コンサルトや感染対策に加えて、他にも、大学病院ならではの学術的アプローチを学ぶことが可能です！

# 感染症・感染対策に関する論文報告(2013～)

1. Nakamura K, Kanemitsu K, et al. Pertussis outbreak among patients and healthcare workers in a provincial dialysis facility in Japan. *J Hosp Infect*, 94:341-345, 2016.
2. Nakamura K, Kanemitsu K, et al. An outbreak of extended-spectrum  $\beta$ -lactamase-producing *Escherichia coli* transmitted through breast milk sharing in a neonatal intensive care unit. *J Hosp Infect*, 92:42-46, 2016.
3. Hiroshi Ikeda, Kiwamu Nakamura, Keiji Kanemitsu, et al. Severe Disseminated Mycobacterium avium Infection in a Patient with a Positive Serum Autoantibody to Interferon- $\gamma$ . *Intern Med* 55: 3053-3058, 2016.
4. Nakamura K, et al. Orosomucoid 1 drives opportunistic infections through the polarization of monocytes to the M2b phenotype. *Cytokine*. 73(1):8-15, 2015.
5. Efficacy of 1.0% chlorhexidine-gluconate ethanol compared with 10% povidone-iodine for long-term central venous catheter care in hematology departments: a prospective study. Yamamoto N, Kanemitsu K, et al. *Am J Infect Control*. 2014 May;42(5):574-6.
6. The capability of MRSA active surveillance to reduce MRSA infection in Japan. Kanemitsu K, Yamamoto N, Kaku M, et al. *Am J Infect Control*. 2013 May;41(5):470-1.



# 新内科専門医制度では総合内科と連携



Bedsideでの臨床感染症研修が可能に！

# 新内科専門医制度では総合内科と連携

感染症サブスペシャリティ重点コース(総合内科-感染制御部)													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	研修場所	総合内科(全般)			福島医大附属病院 各内科ローテーション								
	内容	初期トレーニング			内科各科をローテーション。最短1科1か月ごと可能								
	必須条件	主に感染症以外の症例を中心に経験							JMECC 受講	主に感染症以外の症例を中心に経験			
2年目	研修場所	福島医大附属病院感染症診療						連携・特別連携施設					
	内容	附属病院にて感染制御部の各科からのコンサルト・感染制御業務、連携施設での症例経験											
	必須条件	学会での症例報告・ケースレポートを完成・大学院への入学(希望の場合)									内科専門医取得のための 病歴提出準備		
3年目	研修場所	連携・特別連携施設						福島医大附属病院診療					
	内容	総合内科選択の場合:2年目の業務に加えて輸入感染症研修会への参加など											
	必須条件	学会での症例報告・ケースレポートを完成・大学院への入学(希望の場合)											
備考	一類感染症診療病棟での個人防護具着脱訓練の実施(3か月に1回)												

福島医大病院で是非、一緒に感染症や  
感染対策について学びませんか？